

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

事務事業コード 413-01-03

事務事業名		ファミリーサポートセンター運営事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		子育て支援センターふるいち		連絡先		072-958-3308	
総合基本計画	施策目標	4	未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	1	子育て支援		款	3	民生費
	施策の方向	3	地域ぐるみの子育て支援の充実		項	2	児童福祉費
					目	8	子育て支援費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	依頼会員・協力会員ともに、市内在住の生後3か月から小学6年生までの子どものいる方					
	目的 (どうしたいか)	子育ての援助をして欲しい人(依頼会員)と子育ての援助をしたい人(協力会員)の相互援助活動により、地域の子育て支援の輪を広げることを目的としている。					
	手段 (事業内容)	センターは、依頼会員と協力会員との連絡調整等を行う。援助を受けた依頼会員は協力会員に報酬等を支払い、協力会員は援助活動報告書をセンターに提出する。					

予算・決算額		(単位:千円) <<主な内訳(令和4年度決算)>>		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
当初予算額	事業費	580	580	552
決算額	事業費	515	437	-
	特定財源等	0	0	-

【事業費】
電話代31250円ほか
講師謝礼など

【特定財源】

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	登録会員数	単位	人	
指標の説明		依頼会員、協力会員、両方会員に登録している人数		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)		200	200	150
実績		122	118	-

<<事業の参考数値等>>

援助活動実績

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	援助活動件数	単位	件	
指標の説明		依頼会員の子どもを協力会員が保育した件数		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)		480	480	300
実績		280	257	-

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	改善して継続
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
子育て支援においては、重要な事業です。他市では、社会福祉協議会に委託するなどしており、基礎自治体が直接実施する必要性があるのか検討する余地がある。	

今後の改善内容
(令和5年度以後の事業実施への改善内容)
従来から援助活動に参加している会員が高齢化し、新たな協力会員の開拓が必要。